

## 「浪江町復興ビジョン～検討状況の中間報告～」からの修正概要について

## 浪江町復興ビジョン 中間報告

パブリックコメント、  
子どもアンケート、検討委  
員会での議論等から  
見えてきた課題

- ・「帰るためのビジョン」との見方が強い（伝わらない、読まれない）
- ・帰りたい⇔帰たくない、ふるさとの再生を望む⇔ふるさとの再生は無駄、等の相反する考え、人それぞれの様々な意見が存在する
- ・ビジョンとは何か、この災害にどう向き合うべきか、等の根本的な部分が共有されていなかった
- ・除染後の町の復興像が弱い（若者のいない、衰退していく町といったイメージ）
- ・除染、ふるさとの再生＝帰町といったように、本来切り離して考えなければいけないことが混同されている
- ・大人以上に悩み苦しんでいる子どもたちの切実な願いと、ふるさとへの強い思いが存在 ……等々

## 修正に当たって盛り込んだ論点

災害への向き合い方を追加

- ①この災害に我が国全体としてどう向き合うべきか
- ②子どもたちの想いをどう受け止めるか

国・県・町がやるべきことを明確にした上で、一体となって復興にあたっていく必要性の記載

総合的に解決すべき課題、切り分けて考えなければならない課題についての説明を付加

盛り込むべき論点に沿って、理念・方針の見直しと、各施策の記載を強化

「復興＝一人ひとりの生活の再建」を強調

見易さ、読みやすさに配慮して、文章メイン→図示メインへ

様々な考え、想いに応じた選択肢の確保の概念を強調（生活の再建を前提とした上で、それぞれの想いに沿った様々な復興へ）

ふるさと再生の考え方を整理

- ①戻りたい人のための選択肢のひとつ
- ②子どもたちのふるさとへの想いに応えるためのもの
- ③我が国全体として考えなければならないもの（再生か放棄か）

……など

浪江町復興ビジョン提言（案）